

1. 子ども・子育て支援事業計画令和3年度実績報告【会議資料1-1～1-7】

項目	会議資料	意見・質問・気付いた点など	事務局回答	所管
基本目標 1-1-2 子育て政策課	資料1-2	子育て世代がデジタルネイティブ世代になりつつあるので、アプリでの発信を活発に行い、「わくわく子育て」ブックをなくしていく方向にしてもいいのではと思いました。ペーパーレス、作業効率、何より災害時等での早急な情報発信受信が行えるので。何かのアンケートの際に、利用している人の調査など行ってもいいのではないのでしょうか。	子育てサポートブックわくわく子育てに関しては、妊娠中のかたや就学前のお子さんがある保護者のみなさまに、芦屋市の子育て支援サービスをわかりやすく紹介するために作成しておりますので、引き続き作成していきます。しかし、ご指摘のとおり、ペーパーレス等の観点から、今後の子育てアプリの浸透等、機会を捉えて子育てサポートブック作成の必要性について、検証してまいります。	子育て政策課
基本目標 1-2-2 地域福祉課（福祉医療）	資料1-2	「乳幼児等・こども医療費助成制度」について、子育て世帯として平等に、全世帯で医療費助成になってほしいと感じます。他県では、中学卒業までに全世帯が無料という地域も多く、改善してほしいです。	乳幼児等・こども医療費助成制度は、兵庫県が設定する助成内容に加え、各自治体が独自に助成内容を上乗せして実施しているため、自治体間で制度内容が異なります。 本市では、県と同様に経済的な事情で医療機関の受診が困難なかたに対して医療費の助成を行うことで経済的な負担を軽減し、必要な医療を受けやすい環境を持続的に整備することを目的として制度を実施しております。そのため、1歳から所得制限基準を設けておりますのでご理解のほどよろしく願いいたします。 ただし、本市では独自に所得制限の算定方法において世帯合算は行っており、また、受給者の自己負担はなしとしています。 本来であれば、将来を担う子どもたちが必要な医療サービスを公平に受けることができるよう受診環境が整えられるべきであると考えておりますので、少なくとも未就学児までの医療費については全国一律に国が保障制度を創設するよう全国市長会を通じて要望しているところです。	地域福祉課
基本目標 2-1-4 ～5 管理課 学校教育課	資料1-2	私立幼稚園ではだいたい3年保育が保障されています。明石市、宝塚市をはじめ全国的に幼児教育は3年保育が常識にもなりつつあることから、岩園幼稚園のように実現を望む保護者がとても多いです。芦屋市PTA協議会にも市内幼稚園から「異なる年齢同士の関わりが見られ、子どもの成長や生活習慣に良い影響が見られているため、ぜひ3年保育の実現を！」との声が挙がっています。また、食育の観点からも、給食に力を入れている芦屋市であることから、いずれ公立小学校に通う子が多い公立保育園、幼稚園で、月1回でも給食の日を設けて、体験させてほしい（保護者のお弁当負担も減ることに繋がる）という要望も多く、新たな取り組みの1つとして期待したいです。	新型コロナウイルス感染症により、人口動態の推移が見込みにくい状況であるため、今後の動向把握に努める。 今後のあり方については、公立幼稚園だけでなく児童数推移、保育所等の待機児童数、私立幼稚園の状況なども含め、市内全体の就学前施設について、慎重に見極めていく必要があると考えております。 給食については、令和元年度までは、各学校が、就学前施設対象の年1回の体験給食を実施していました。新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、体験給食の再開を検討しているところです。	管理課 学校教育課

基本目標3-1-15 青少年育成課	資料1-2	キッズスクエアの運営で、校舎内で行われている場合、回りの教室の授業のじゃまになっている場合があると聞いている。授業が終わったあとでも教員の業務に支障がでるくらいさわがしい。教室の場所の選定の問題や実施者の指導力の問題があると思われる。	キッズスクエアは、体育の授業が終わるまで校庭を使用しないため、その間、児童が教室に集中して、どうしても騒がしくなってしまうことがあります。 事業内容が放課後の居場所づくりであり、集団で静かに過ごすことは難しいですが、スタッフも「騒ぐのは校庭に出てから」と児童と約束したり、様々な工夫をしているところです。 キッズスクエアを実施する教室は、各小学校にご協力をいただき、できるだけ授業や教員の業務に影響が少ない場所を使わせていただいております。	青少年育成課
基本目標3-1-15 青少年育成課	資料1-2	会議で発言させていただいたとおり、市内で統一して夏季など長期休み中利用時、「キッズスクエア」にてお弁当まで食べてそのまま利用できれば、安全面でもより安心して利用しやすくなるのでは、と感じます。（昼食のために、カギを開け閉めして、また往復という点も子どもには負担だと）	キッズスクエアの運営については、それぞれの小学校で運営会議を開き、スタッフ、保護者（PTA）、学校、青少年育成課で協議してきた経緯があり、学校ごとに少しずつ違いがあります。 お弁当については、保護者からのご要望もあることから、今後も引き続き、それぞれの小学校の運営会議で協議してまいります。	青少年育成課
基本目標3-2-1 地域経済振興課	資料1-2	R4.4月～成人年齢が18歳へ引き下げされたことに伴い、小学生など小さいうちからも知識として、消費者トラブル防止の観点からも出前授業等を通して、学校授業の一環として広めていただければありがたいです。（小学校中学年以上くらいを対象に）	学校現場への啓発チラシの配布や出前講座の実施など、必要な時期に必要な消費生活の知識を身に着けることができるよう消費者教育を推進していきます。	地域経済振興課
1.一時預かり事業	資料1-7	里帰り出産による一時預かりの希望が園に多数ございましたが、住民票が芦屋市に無い方が多く（ご実家が芦屋市でご本人は他市在住）、お断りするケースが多く発生しました。出産における里帰りの際、ご実家もご本人も芦屋市在住の方は非常に少ないのではないかと感じ、子育て支援という観点から、利用対象者の要件緩和などが必要ではないかと思いました。	現状は「保護者と申込み児童の住民票が芦屋市にある」ことを利用要件としていますが、国の制度上、里帰り出産の利用が可能とされており、現在の一時預かり事業における待機児童も減少傾向にあることから、要件緩和について、近隣市の状況等も含め、調査・研究してまいります。	ほいく課
2.放課後児童健全育成事業 高学年実際ニーズ量について	資料1-7	目標を大きく上回ったものの、ニーズ量に対応していただきありがとうございます。	ご意見のみ掲載	青少年育成課

2.放課後児童健全育成事業	資料1-7	<p>民間業務委託の選定時は、何社の競合になったのか。 保護者は、保育者が3年ごとに変わることは望んでいない。業務委託せずに芦屋市の指導員で保育してほしい。 放課後児童健全育成事業で行っている「しおさい子ども園」の学童保育も減免を行ってほしい。</p>	<p>令和3年度に実施した放課後児童クラブ事業の一部民間業務委託の選定時は、最終的に2社の競合となりました。選定の結果、委託事業者は、令和元年度から委託している事業者と同じ事業者になりました。 事業者や支援員が頻繁に変わることは、子どもにとって好ましいことではないこと等から、今回は、令和4年度から8年度までの5年間の契約期間となっております。今後も安全・安心な事業運営が継続されるよう、取り組みを進めてまいります。 しおさいこども園における利用料等の減免については、事業者で総合的に判断、決定されるものと考えております。</p>	青少年育成課
	資料1-3～1-7	<p>折角さまざまな取り組みに尽力されているのに、目標の妥当性が分からず評価をするにも難しいな、というのが正直な感想です。例えば重点事業における目標が「充実」というのも、どのような状態が「充実」と言えるのか、ブレークダウンした指標が必要に感じました。 また、想定されたニーズ量に対して実績が低水準となった項目について、主要な要因をどのように分析されているのか気になりました。利用者にとって必要性がないのか、必要性はあるが知らないのか、知ってはいるがコストパフォーマンスに見合わないのか、新型コロナ対策で利用しないのか、要因如何で取るべき対応も変わるかと思えます。</p>	<p>重点事業のうち、目標を数値化することが困難なものに関して、令和6年度目標「充実」を掲げております。どのような状態が「充実」と言えるのか、わかりやすくなるよう、様式上の「令和〇年度の取組・課題と対応策」の欄に、よりきめ細かく記載するよう取りまとめてまいります。 ニーズ量の見込みに対して実績が低水準となった項目について、その要因は個々の事業によって異なりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減ったものが多いと考えています。</p>	子育て政策課

2. 第2期子育て未来応援プラン「あしや」の中間見直しについて【会議資料2-1～2-2】

項目	第1回会議資料	意見・質問・気付いた点など	事務局回答	所管
第5章 教育・保育の量の見込みと確保方策	資料2-1	<p>今後は、認定こども園に移行したい保育所もあるというお話が会議でありました。こども園拡充が園の方向性でもあり、施設側、保護者、市にそれぞれメリットも多い点から、ニーズが高まることも理解しました。ただ一方で、市立幼稚園の保護者からは、岩園幼稚園で先に3年保育が実施されたことにより、他の市内幼稚園でも3年保育の実現を望んでいるお声もとても多いようです。（市教育委員会懇談会のテーマでも挙がっており、10月18日に話し合いがされる予定です。（教育委員会生涯学習課担当））</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により、人口動態の推移が見込みにくい状況であるため、今後の動向把握に努める。 今後のあり方については、公立幼稚園だけでなく児童数推移、保育所等の待機児童数、私立幼稚園の状況なども含め、市内全体の就学前施設について、慎重に見極めていく必要があると考えております。</p>	管理課 学校教育課

3. 芦屋市立幼稚園・保育所のあり方について【会議資料3-1～3-5】

項目	第1回会議資料	内容	事務局回答	所管
令和5年度保育施設定員一覧（予定）	資料3-3	職場復帰の時期に合わせて入所できることは、利用者として安心して子育てができます。ありがとうございます。	ご意見のみ掲載	ほいく課
令和5年度保育施設定員一覧（予定）	資料3-3	芦屋市内の動向として、0歳児については、保護者の育児休暇の取得、コロナ禍の影響等もありで、入園が年度の途中からでないと、入ってこないことから、0歳児の定員を減少して1歳・2歳児の定員数を増やした、という取り組みは良いと思いました。	ご意見のみ掲載	ほいく課施設整備担当
市立幼稚園・保育所のあり方にかかる総括報告について	資料3-5	入所待ち児童数と国基準待機児童の違いについてよく分かりました。その上で芦屋市としてはどういった指標を充足すべく提供体制を計画すべきでしょうか。どちらかの指標も些か極端に感じまして、その間で別途何らかの妥当な指標と目標範囲を設定して取り組むのも良いのかなと思いました。	本市の待機児童対策としましては、まずは、国基準での待機児童数の解消をおいております。その次の段階として入所待ち児童数をどこまで減らしていくことができるかということで検討しております。 上記2つの人数以外の目標や指標につきましては、国基準での待機児童の解消が安定的に実施できた次の段階の際に検討していく必要があると考えております。	ほいく課施設整備担当
打出保育所アスベストの検出について	資料3-6	打出保育所のアスベストの件、会議前に保護者経由で耳にはしておりました。自分の子が通う施設は問題ないのか、不安を感じる保護者もいらっやいます。今回ご説明いただいた内容から、事前に市が対処できた事案と個人的には捉えておりません。不安を払拭する意味でも引き続きの各調査、適宜公表や通達をいただくなど、適切な事後対応をお願いできればと思います。	打出保育所のアスベストの件については、皆さまにご心配、ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。市の責任において対策及び復旧作業を実施、11月25日に完了し、給食提供も同28日から再開しています。 同様の事案がないよう、他の公共施設においても11月に再調査を実施し、レベル1のアスベストがないこと、また、飛散もなかったことを確認しています。	ほいく課施設整備担当
打出保育所アスベストの検出について	資料3-6	〈打出保育所のアスベスト検出問題について〉 現在、他の小学校等も調査中とのことで、安心しました。調査結果が出揃いましたら、分かりやすいよう情報共有していただきたいです。また、当時の基準では未検出も、現在の基準では検出される点についても、他にもそのような事案は出てこないのか、広く洗い出しが必要ではないか、とも感じました。	上記に同じ	ほいく課施設整備担当
		質問等はありませんが、各園が公立・私立・幼稚園・保育園・こども園それぞれの強みを活かしあいながら共存できる体制づくりができればいいなと感じました。	ご意見のみ掲載	ほいく課 管理課 学校教育課

4. その他（オンライン会議についてなど）

内容	事務局回答	所管
<p>お世話になっております。 審議会、ありがとうございました。 多くの方が参加してのオンライン審議会のため、議長のご負担が多いのかと思いました。</p>	<p>ご意見のみ掲載</p>	<p>子育て政策課</p>
<p>全般対しまして、各種目標設定や評価においては近隣の市との相对比较があっても良いかと感じました。 子育ての地を選ぶに際して、特に阪神間において待機児童数や保育料、各種支援事業の充実さを比較評価する人も多く感じます。各市の規模や事情などが異なることも当然理解しますが、市がどのように分析されているのか、参考にしている点があるのか、アピールできる点があるのか、知りたいと思いました。 芦屋市内の教育・保育ニーズに対してPDCAを回すことが最重要と認識はしておりますが、芦屋市を選んでもらうということも意識した目標設定や評価も重要と思います。</p>	<p>第2期子育て未来応援プラン「あしや」に関しては、令和2年度に実施した子ども・子育て会議において、本計画のPDCAを決めさせていただいております。芦屋市の強みをアピールするという視点は重要であると考えますので、令和6年度末に策定予定の第3期計画においては、ご指摘の意見について検証の上、策定を進めていきたいと考えます。</p>	<p>子育て政策課</p>
<p>感染状況を考慮しながら、各々が参加しやすい場所でオンライン会議導入も便利に感じました。 お顔を合わせて話し合うことが一番伝わりやすいとは思いますが、移動時間の短縮、感染リスクの減少を考えると、今後もこのような形で開催いただくことも賛成です。 また、今回初めて参加させていただき、各方面で活躍されている団体の代表者、学識経験者などが一堂に繋がることのできる貴重な機会だと感じました。 たくさんの方の資料のご準備、会議の設定等ありがとうございました。</p>	<p>ご意見のみ掲載</p>	<p>子育て政策課</p>